

第6学年-Unit4 単元名 I like my town. 自分たちの町・地域 (2/2時間)

1. 単元目標

- ・地域にどのような施設があるのか、また欲しいのか、さらに地域のよさを表す表現に慣れ親しむ。また書くことに慣れ親しむ。(外国語への慣れ親しみ)

2. 表現・言語材料

- We have/ don't have (a park). We can (see many flowers). We can enjoy [fishing/ shopping/ swimming].
I want a [library/ park]. (Sakura) is a nice town.
- we, town,施設と建物(amusement park, aquarium, swimming pool, stadium, roller coaster, Ferris wheel), but, so, nature,動作(dancing, jogging, playing, reading, shopping, singing, swimming,walking)

時間	児童の活動	指導者(T)の活動と使用英語例 ◎評価<方法>	準備物
1分	・挨拶をする	・全体に挨拶し、個別に数名の児童にも挨拶する。	
5分	○Let's chants(p.29) ・音声を聞き、リズムに合わせて英語を言う。	・まず、チャンツを聞いて、どのような単語が出てきたかを発表させる。 ・聞こえた単語を児童と確認して、音声のあとについてリズムカルに歌詞を言う。 自分たちの町について発表しよう。	
10分	○Let's Watch and Think1(p.29) ・デジタル教材を視聴し、3つの町にある施設、欲しい施設を聞き取って、誌面に印を記入する。	T: Let's listen to the talk. Satoshi, Saki and Kenta talk about their cities. What do they like about their cities? What do they want for their cities? ・それぞれの会話を聞いて、必要な情報を聞き取ることをねらいとしている。欲しい施設をI want～.で表現できることに気付かせるようにする。	デジタル教材
20分	○Activity2(p.32) ・ミニポスターを作成し、それをもとに自分たちの町について発表し合う。	・本活動は、前時までに学習した表現を使い、ペアで自分たちの地域のミニポスターを作る。 ・児童はテキストを閉じて、音声を聞き、聞き取れた語を発表し、2, 3回聞いておおよその内容を理解する。次にテキストにある例文を見て、意味が分かる語を発表したり、指導者が言う語を指さしたりする。そのあと、音声について一文ずつ言い、理解を深めるようにする。 ・例文には、「地域にある施設、ない施設の説明」「自分が考える改善点」が示されていることを確認する。例文を参考に、町紹介のミニポスターをペアで作成する。 ・ミニポスターの準備ができれば、それを使ってペアで発表の準備をする。 ・5～6組のペアで発表し合う。 ・聞き手のペアは感想を伝える。 ・時間があれば交流後、よい発表だと思うペアに全体の前で発表させることも考えられる。 ◎地域のよさを表す表現に慣れ親しみ、また書くことにも慣れ親んでいる。(外国語への慣れ親しみ)<観察・発表> ◎地域のよさを表す英文を書くことに慣れ親しんでいる。(外国語への慣れ親しみ)<観察・ポスター>	デジタル教材、画用紙 文部科学省ワークシート (Unit4-1,2,3,4)も使用可
4分	○Sounds and Letters"k"	T: Let's play "Finding words.(単語探し)" Find any words starting with /k/ from the textbook within twenty seconds. (20秒以内にテキストから「k」で始まる単語を見つけましょう。) ・指導者と児童全員で行う。制限時間を短くしていくなどするとよい。 ・見つけた単語の確認をし書く。(児童が発表した単語を黒板に書く。)	ワークシート (HF Plus)
5分	・本時の活動を振り返り、振り返りカードに記入する。・挨拶をする。	・本時のねらいに照らして児童を評価する。 ・挨拶をする。	振り返りカード

